

信越シリコーン

抗菌・防カビタイプ 一成分形シリコーンシーリング材 コウキンシーラント4515(オキシムタイプ)

JSIA F ☆☆☆☆ 認定品

コウキンシーラント4515は、空気中の湿気と反応して室温で硬化する弾性シーリング材です。従来品に比べて抗菌・防カビ特性に優れ、さらに耐久性、耐候性、耐薬品性も兼ね備えています。このため、病院やバイオクリーンルームなど、抗菌・防カビ特性が求められる用途に最適です。



目次

1 特長	2
2 用途	2
3 色の種類	2
4 荷姿	2
5 有効期限	2
6 特性	2
1. 一般特性	2
2. 耐薬品性	3
7 プライマー	4
8 施工手順	6
9 取り扱い上の注意事項	7
10 安全・衛生上の注意事項	7
11 消防法による危険物分類	7

1 特長

- 抗菌・防カビ特性に優れています。
- 一成分形ですから施工が簡単です。
- 耐久性、耐候性、耐薬品性に優れています。
- プライマーを使用することにより、ほとんどの材質によく接着します。
- コウキンシーラント4515は、「JIS A 5758」のタイプG-クラス30SLM (SR-1-9030G)に適合するシーリング材です。

2 用途

バイオクリーンルームの目地シール、抗菌特性が求められる病院の内装、手術室の気密シール、厨房、浴槽、洗面台などの水まわりの目地シール、厨房機器、衛生機器などの水密シール、プレハブ冷凍庫などの気密・水密シール

3 色の種類

ホワイト、アイボリー、ライトグレー

4 荷姿

330mLカートリッジ(標準梱包:20本、ダンボール箱入り)

5 有効期限

製造後12ヶ月(製造年月日はカートリッジに記載されています)

6 特性

1. 一般特性

項目		製品名	コウキンシーラント4515	
硬化前	外観		ペースト状	
	流動性		なし	
	タックフリー 23°C・50%RH	分	7	
硬化後	密度 23°C	g/cm ³	1.05	
	*1 硬さ デュロメータA		28	
	伸び	%	390	
	引張り強さ	MPa	2.00	
	*2	50%モジュラス	MPa	0.45
		最大引張り応力	MPa	0.79
		最大荷重時の伸び	%	100
凝集破壊率		%	100	

*1 シート物性(JIS K 6249に準じる方法で測定)

硬化条件:23°C・50%RH×7日間

*2 H型ブロック物性(JIS A 1439に準じる方法で測定)、被着体:フロートガラス

硬化条件:23°C・50%RH×14日間+30°C×14日間

(規格値ではありません)

2. 耐薬品性

薬品名	水溶液濃度(%)	外観*2
硫酸*1	5	○
	10	○
	20	○
塩酸*1	5	○
	10	○
	20	○
硝酸*1	5	○
	10	△
	20	△
酢酸	100	○
カ性ソーダ	2	○
	4	○
	15	○
アンモニア*1	5	○
	10	○
	20	○

*1 工業用薬品を水で希釈した溶液をwt%で表す。
試験片:23℃・50%RH×7日硬化後のゴムシートを使用

●20℃×40日浸漬後

*2 ○:異常なし △:表面粘着

7 プライマー

1. プライマーの種類

プライマーは、シーラントと各種被着材質との接着性を向上させる下地処理剤です。

コウキンシーラント4515にはプライマーの使用を推奨します。

使用対象	プライマー名	性状 (溶剤)	乾燥時間 (20℃)分	使用量 g/m ²
ガラス、ホーロー、タイル磁器、金属	プライマーAQ-1	淡黄色透明液体 (n-ヘキサン、イソプロパノール)	30以上	50
	プライマーC	淡黄色透明液体 (工業用ガソリン、トルエン)	15以上	35
石材、モルタル、スレート、コンクリート、木材	プライマーMT	無色透明液体 (トルエン、イソプロパノール)	30以上	200
プラスチック	プライマーT	無色透明液体 (トルエン、イソプロパノール)	15以上	50
フッ素塗料、塩ビ樹脂	プライマーD	無色透明液体 (トルエン、ブタノール)	30以上	100

※上記以外の被着材質については、当社にお問い合わせください。

2. プライマーの選択基準

材 質		最適なプライマー	材 質		最適なプライマー
ガラス・石材・木材	ガラス	プライマー-AQ-1	塗装パネル	アクリル焼付塗装	プライマー-AQ-1
	サンカットガラス			メラミン塗装	
	セラミックス			フッ素塗装	プライマー-D
	ホーロー		プラスチック	塩ビ(軟質)	プライマー-D
	タイル			塩ビ(硬質)	プライマー-D
	大理石	アクリル		プライマー-T	
	スレート	PBT		プライマー-AQ-1	
	モルタル	プライマー-MT	ABS	プライマー-T	
	コンクリート		エポキシ		
	木 材		ポリエステル		
	フェノール				
金 属	アルミニウム	プライマー-AQ-1	ウレタン	プライマー-C	
	ステンレス		ゴ ム	シリコーンゴム	不 要
	鉄			SEPラバー	
	銅			ブチルゴム	プライマー-AQ-1
	錫			ニトリルゴム	
	クローム		ネオプレンゴム		
	ニッケル		クロロプレンゴム	プライマー-C	
	トタン				
	ブリキ				

※上記表はプライマー選択の目安です。
 当社シリコーンシーラント製品を使用する場合は目的に適合するか、事前に接着確認試験を必ず行ってください。
 不明な点は当社営業部までお問い合わせください。

3. 処理方法

(1) 処理面の清掃

さび、油分、手あか、ごみなどの異物をサンドペーパーや溶剤を浸した布できれいに清掃してください。溶剤はトルエン、キシレン、アルコールなどを使用してください。

(2) プライマーの塗布

はけで接着面に均一に塗布します。使用后、容器は必ず密栓してください。

(3) 風 乾

プライマー塗布後は、必ず所定時間以上、風乾させてください。なお、処理面には指を触れたり、ほこりなどが付着しないように注意してください。

8 施工手順

1. 施工前の確認

目地の形状や寸法、被着体の材質など施工箇所を十分確認してください。



2. 被着面の清掃

被着面に付着しているゴミ、油分、汚れなどを、からぶきか溶剤を浸した布できれいに清掃してください。
溶剤は、トルエン、キシレン、アルコールなどの溶剤を使用してください。

※アクリルなどのプラスチックの洗浄溶剤には、ノルマルヘキサンをご使用ください。



3. バックアップ材の装填

目地の深さを調整し、またシーラントが底部に接着しないように、バックアップ材を装填してください。

なお、バックアップ材は、シーラントが接着しないポリエチレン製のものをご使用ください。

※EPT、クロロプレンゴムの一部の製品には、シリコンシーラントを変色、軟化させたり、硬化・接着不良を起こすものがありますのでご注意ください。

※バックアップ材を装填できない場合は、ボンドプレーカーを装填してください。



4. マスキングテープ貼り

目地周辺の汚れ防止と充填部の仕上がりをきれいにするために、マスキングテープを貼ってください。

なお、テープの粘着剤がガラスやサッシの表面を汚損しないものをご使用ください。



5. プライマーの塗布

シーラントと各種被着材質との接着性を向上させるため、プライマーの使用を推奨します。

(4ページのプライマーの種類参照)。



6. シーラントの充填

ノズルを目地幅に合わせて切り、ノズル内部の防湿膜を太い針金などで突き破ってください。

つぎに、充填用ガンにカートリッジを装着し、目地内のすみずみまでゆきわたるように充填してください。



7. 仕上げ

充填後は速やかにヘラ、コテなどで表面を仕上げてください。



8. マスキングテープの除去と清掃

仕上げが完了したら、直ちにマスキングテープをはがしてください。

目地のまわりにシーラントが付着した場合は、溶剤でふき取ってください。



9. 養生

シーラントがタックフリー（指触乾燥）の状態になるまでは、触れないようにご注意ください。

9 取り扱い上の注意事項

1. 低温時や多湿時の施工は、硬化・接着不良の原因となりますので避けてください。
2. コウキンシーラント4515は空気中の湿気と反応し、表面から硬化します。したがって硬化速度は、温度や湿度などの作業環境により異なりますのでご注意ください。
3. 開封したカートリッジは原則として使い切るようにしてください。残った場合は、完全に密閉してください。
4. 直射日光を避け、湿気の少ない涼しい場所(5℃～25℃)に保管してください。
5. 硬化時に密閉状態になるような条件で用いると、銅腐食を起こす場合がありますのでご注意ください。なお、このような条件で使用する場合は、あらかじめ当社にご相談ください。
6. 施工用具は、使用后直ちに清掃、洗浄し、調整しておいてください。
7. 石材、タイル、ホーロー、塗装パネルなどの雨水がかかる外壁目地にシリコンシーラントを使用すると、目地周辺が汚れることがありますので、ご注意ください。
8. 表面に塗料は付着しません。
9. エアガンを使用する場合は、0.3MPa(3kgf/cm²)以下でご使用ください。
10. SSG構法などの構造接着用途には、使用しないでください。
11. フレームレス水槽には使用しないでください。

10 安全・衛生上の注意事項

1. 作業時は、換気を十分に行ってください。なお、プライマー施工時等において換気が不十分な場合は、有機ガス用防毒マスクの着用をお勧めいたします。
2. 未硬化状態のシーラントは、皮膚・粘膜を刺激しますので、目に入れたり、長時間皮膚に付着させたまにしないでください。誤って目に入れた場合には、直ちに流水で15分以上洗い流した後、医師の診断を受けてください。皮膚に付着させた場合には、すぐに乾いた布などで拭き取った後、せっけん水で洗浄してください。
3. 作業中、手で目を拭いたりしないように十分ご注意ください。また、保護めがねを使用するなど、適切な予防措置を実行してください。

4. コンタクトレンズ着用者は、未硬化状態のシーラントを誤って目に入れた場合、目にコンタクトレンズが固着することがありますので、十分注意してください。
5. 子供の手の届かないところに保管してください。
6. コウキンシーラント4515は硬化時にメチルエチルケトオキシム(MEKO)を発生しますので、ご使用の際には換気を十分に行ってください。使用時に不快を感じた場合には、空気の新鮮な場所へ移動してください。
7. ご使用前に製品安全データシート(MSDS)をお読みください。MSDSは、担当営業部署までご依頼ください。

11 消防法による危険物分類

1. 下記のプライマー製品は、消防法の危険物に該当しますので、火気厳禁など、法に準じた保管・取り扱いが必要です。

第4類	第1石油類	プライマー-AQ-1 プライマー-C プライマー-D プライマー-T プライマー-MT
指定可燃物	可燃性固体類	コウキンシーラント4515

2. コウキンシーラント4515は危険物に該当しませんが、3,000kg以上保管する場合には、指定可燃物(可燃性固体類)に該当しますので、表示など、保管上の注意が必要となります。

シリコンシーラントについてのお問い合わせは

本社 シリコン事業本部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング
 営業第四部 ☎ (03)6812-2411

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン肥後橋ビル ☎ (06)6444-8226
 名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル ☎ (052)581-6515
 福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル ☎ (092)781-0915

ご用命は

- 当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 安全性についての詳細な情報は、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 当社シリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。
- このカタログに記載されているシリコン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。
- 本資料を転載されるときは、当社シリコン事業本部の承認を必要とします。




当社のシリコン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0004 JCQA-E-0002)
直江津工場	ISO 9001 ISO 14001 (JCQA-0018 JCQA-E-0064)
武生工場	ISO 9001 ISO 14001 (JQA-0479 JQA-EM0298)

<https://www.silicone.jp/>